



12月8日、8回目となる子ども食堂を 堀野の生きいき交流センターで開きました。



「にこにこ食堂ざしきわらしの家」（代表・中村久美子）は12月8日の日曜日、二戸市堀野の生きいき交流センターで、8回目となる子ども食堂を開きました。カボチャと鶏肉の米粉シチュー、リースをかたどった人参ピラフ、ミニハンバーグなどMerry Christmasなメニューが大好評でした。参加者は、小学生8人、福岡高校のボランティア7人、調理ボランティア8人など総勢30人でした。



★この日は、管理栄養士の上柿智佳子さんをキャップに、二戸市食生活改善推進員の中村孝子さんら8人の調理ボランティアが朝9時から料理に取り組みました。

★お米は「銀河のしづく」です。足沢の上野光子さん（調理ボランティア）からの提供です★肉は、十文字チキンカンパニーの菜彩鶏です。今回も鶏王国北いわて推進協議会が仲介してくれました★おなじみのたまご焼きは、堀野の鮓処たけ田さんからの差し入れです。

★「いただきます」の挨拶は、中村久美子さんでした。

★参加のお母さんや子どもたちからはメニュー大絶賛！★「シチューがトロトロでおいしかった。（市販のルーを使わずに）一から作ったと聞き、すごいと思いました」（中央小5年）★「くるくると飾ったポテトとハンバーグとたまご焼きがおいしかったです」（中央小4年）★「普段こんなにたくさん種類と量のある昼食を食べることはないので、ぜいたくだなあーと思いました、多くの人と食卓を囲んでゆっくりお話をしながら食べるのも、ぜいたくな時間でした。焼きりんごが、かわいくて楽しかったです」（若いお母さん）★「人参が苦手ですが、今日はおいしく食べられました」（福高女子2年）

★福高ボランティアの活躍にも感謝です。この日は、女生徒6人、男子生徒1人と、ボランティア担当の先生が4歳のお嬢さんと一緒に参加してくださいました。福高ボラの皆さんには、子どもたちの見守り・遊び相手だけでなく、食事会場の設営・撤収まで手伝ってくれました★「子どもたちの笑顔を見て、とてもうれしくて楽しかったです」(福高男子1年)★「いろんなゲームが楽しかったです」(中央小3年)

★明治安田生命二戸営業所の皆さんに、前回に続いて、じゃんけん大会で遊びタイムを演出してくださいました。

★いわて生協からはたくさんのインスタント食品を譲っていただきました。参加者へのお土産として分配させてもらいました。また、食材費の2割補助もしていただける約束です。

ざしきわらしの家管理人・田中信明